スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

【長野県須坂市】
令和５年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業
（運動部活動の地域移行に向けた実証事業）

自治体名	長野県須坂市
担当課名	須坂市教育委員会学校教育課
電話番号	026-248-9010

1．自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

人口	49,537人	部活動数	41部活
公立中学校数	4校	市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
公立中学校生徒数	1,293人	市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定に向けて準備中

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

須坂市の中学校の生徒数は、2020年度の1,349人から2029年度は1,165人になると推測しており、10年間で184人が減少（約14%減少）する。また、2023年4月1日現在の毎月人口移動調査では、須坂市の0歳児は283人で、この0歳児が中学生になるころは、更に中学生数の減少が予想される。

現役の教員や保護者から出された部活動の現状は、

① 数年前まであった部活が、廃部となったものがある。
② 今後、生徒数が減っていく見込みから学校の部活動数を減らす検討が必要
③ 人数が足りず、合同で部活動をしている部がある。これから合同部活動が増えてくる。
④ 合同部活動では、活動場所への移動など保護者の負担が増える場面があった。
⑤ 部活動の減少（種目）で生徒の希望に応えられないという状況が出てくる。
⑦ 専門的な知識技能を持った教員が顧問になることが少ない。

また、休日の部活動や大会引率・運営等が教員の長時間勤務の一因となっている。との意見もある。これらの現状等を考慮する中で、部活動の地域移行に向けた課題は次のとおりとし、この課題の解決のため、対応を検討している。

① 学校部活動の教育的意義の継承について
② 地域クラブの運営主体、運営形態について
③ 指導者の確保と謝礼について
④ 保護者負担（会費、送迎等）への支援について
⑤ 地域クラブ活動を実施する上での課題について
　施設の確保、多様なニーズへの対応、主体性を重んじた活動

教職員が部活動の指導を行うことについて、どう考えますか。（須坂市部活動地域移行に関するアンケートから）	回答	構成比（%）
1 教職員が指導することが望ましい	6	4.2
2 部活動における生徒の成長がみられ、教職員のやりがいにつながる	18	12.6
3 平日、休日の指導、大会の引率、保護者対応等、時間的、精神的に負担になる	64	44.8
4 専門的な指導ができない教職員が多く、生徒のニーズに十分にこたえられない	49	34.3
5 その他	6	4.2
計	143	100.0

79.1%の教員が部活動の指導について、時間的、精神的に負担になる、専門的な指導ができず生徒のニーズに応えられていないと考えている。

2．実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

▼運営体制図（市区町村における推進体制図）

須坂市部活動地域移行
検討協議会

地域移行の課題の検討
地域クラブ運営方針、方法の検討・承認

須坂市教育委員会

地域移行検討課題の把握
協議会検討事項の提示
地域移行のためのプラン案作成

委員
スポーツ団体代表、文化芸術団体代表、中学校長
中学校部活動担当教員、部活動保護者会代表
部活動指導員（スポーツ、文化芸術）代表
スポーツ、吹奏楽、美術、情報・技術各学識者
県教育事務所指導主事（オブザーバー）

事務局
教育委員会　教育長、次長、学校教育課長、主任指導主事、教育政策係長、部活動地域移行コーディネーター
市長部局　文化スポーツ課長、生涯学習推進課長

▼行政組織内での役割分担

- **教育委員会**（学校教育課）
  部活動地域移行の推進に関すること
  市内中学校との連絡、調整に関すること
  須坂市部活動地域移行検討協議会に関すること

- **首長部局**（文化スポーツ課、生涯学習推進課）
  スポーツ団体、文化芸術団体との連絡調整に関すること
  スポーツ施設、文化施設等の管理に関すること

年間の事業スケジュール

2023.4　部活動の現状と地域移行への課題の把握、先進事例の把握（通年）
　　部活動地域移行検討協議会の設置
2023.5　第1回部活動地域移行検討協議会（部活動の現状と地域移行への課題、総合的なガイドラインの把握）
2023.7　第２回部活動地域移行検討協議会（部活動地域移行に向けた課題について検討、部活動地域移行先進地事例紹介）
2023.8　学校部活動の見学
2023.9　部活動地域移行に関するアンケート内容検討
2023.10　部活動地域移行に関するアンケート実施　第3回部活動地域移行検討協議会（先進地視察）
2023.11　地域クラブ試行準備
2023.12　第４回部活動地域移行検討協議会（部活動地域移行に向けた課題への対応、運営主体について検討）、　地域クラブ試行開始
2024.2　第５回部活動地域移行検討協議会　地域クラブ活動の運営主体、運営形態等について須坂市方針決定

2．実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

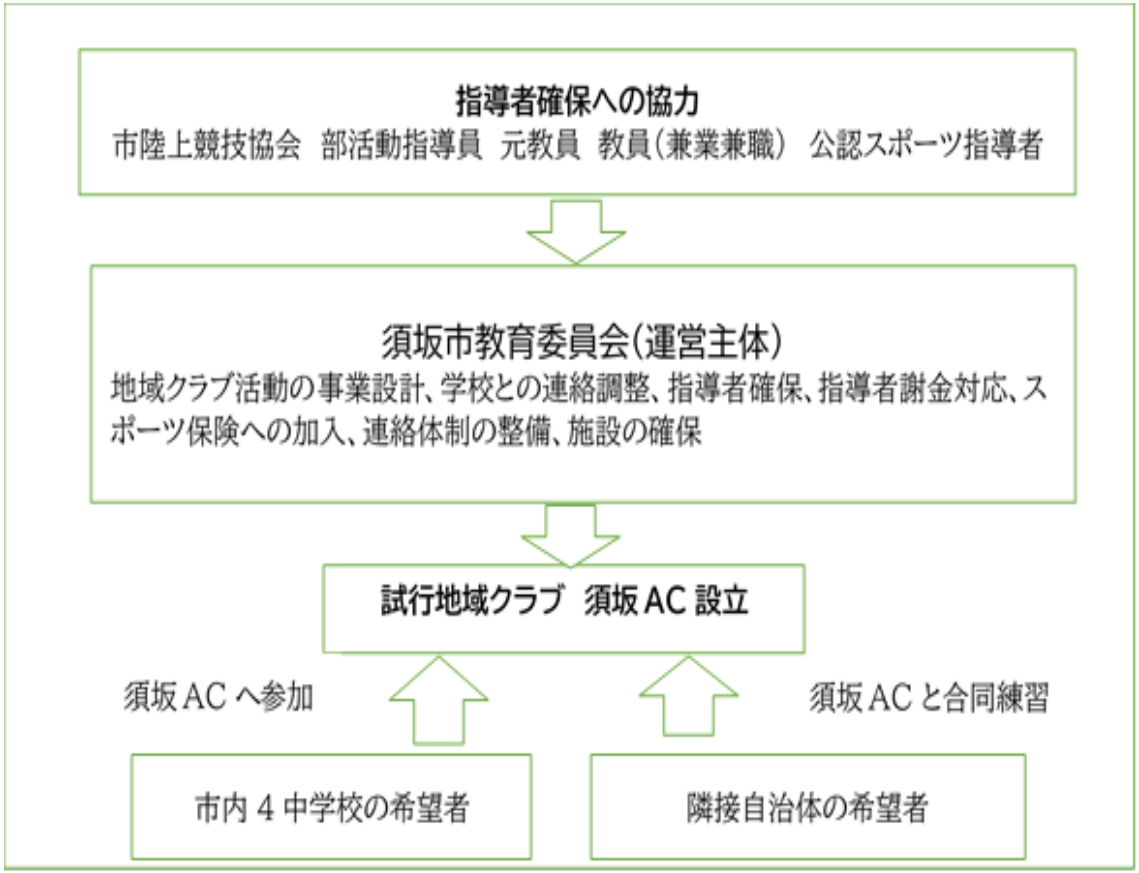
拠点校数	1校	地域クラブ活動に取り組んだ種目	陸上競技
地域クラブ活動に取り組んだ部活動数	4部活		

主な取組例

▼活動概要

拠点校名	須坂市立東中学校
地域クラブ活動に移行した部活動数	0部活
地域クラブ活動で実施した種目	陸上競技
運営主体名	須坂市教育委員会
運営類型	地域団体・人材活用型
1か月あたりの平均的な活動回数	月1回程度
指導者の主な属性	市陸上協会会員、元教員、現役教員、部活動指導員
活動場所	須坂市立東中学校
主な移動手段	徒歩、自転車、保護者の送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	スポーツ保険料800円のみ徴収
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年、1,200円/年（65歳以上）

▼運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



2．実証内容と成果

取組内容

▼取組項目名：ア．関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備　1/2

取組事項

●部活動地域移行検討協議会を設置した。委員は、スポーツ団体や文化芸術団体の代表者、学校や保護者の代表などにお願いし、それぞれの立場から部活動地域移行の検討を行った。
●小学５・６年生、中学１・２年生、保護者、教職員を対象にアンケートを実施し、部活動や地域移行に関する課題等の把握を行った。
●地域クラブの試行（陸上競技）を行い、地域クラブ運営等の課題把握に努めた。

取組の成果

●部活動地域移行検討協議会でそれぞれの委員の立場から現状や課題を出し合い、検討することにより、地域移行に対する理解を深めた。
●部活動地域移行に関するアンケートを実施したことにより、地域クラブやその指導者に望むこと等が明確になり、部活動に代わる「地域クラブの目指す姿」を策定することができた。（中学生が地域クラブやその指導者に望むこと 「一人一人のレベルに合わせた丁寧な指導」20.9%、「専門性の高い指導」16.9%、「無理のない活動日数や時間」11.9%）
●地域クラブの試行に関するアンケートでは、活動内容について80%が満足、どちらかといえば満足と答えており、78%が来年度も地域クラブに参加したい、どちらかといえば参加したいと回答している。来年度も今年度の運営方法を基本に試行を継続し、随時、参加者の意見を把握しながら改善すべき点は改善していく。

2．実証内容と成果

取組内容

▼取組項目名：ア．関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備　2/2

特に工夫した事項

協議会で話された意見やアンケート結果などから部活動に代わる地域クラブ活動の目指す姿を導き出し、その実現や中学生にとってより良いスポーツ、文化芸術環境の確保のためという観点から、地域クラブの運営主体及び運営形態等について検討を行った。

地域クラブ活動の目指す姿

地域クラブ活動は

1　地域での活動や交流等を通して、仲間づくりや人間関係の構築を図り、社会性や協調性を育むことに努める。
2　生徒が主体的に取り組むことができるように努める。
3　専門性の高い知識や技術の習得のみならず、活動の楽しさ、上達したことへの達成感、努力することの尊さを実感できる活動に努める。
4　地域と連携を密にし、専門的な指導者の確保に努める。
5　生徒と指導者、関係者等との豊かな交流等を促進し、地域のスポーツ・文化芸術活動の振興に努める。

指導者は

1　生徒の主体性を尊重する。
2　生徒との十分なコミュニケーションを図り、生徒一人一人のレベルや心身の成長に応じて、丁寧な指導に努める。
3　無理のない活動日数や時間及び学校生活に配慮した活動に努める。
4　指導者研修などにより、専門性の高い指導の維持に努め、合理的かつ効率的・効果的な練習の導入に努める。
5　生徒の心身の健康管理、事故防止を徹底し、体罰・ハラスメントを根絶する。

今後の課題と対応方針

運営主体の体制整備に努める。各スポーツ、文化芸術団体等との連携体制確立のため、協力依頼を行い、指導者の確保に努める。また、企業等にも協力を求め、地域の指導者の拡大に努める。学校、生徒、保護者への説明、周知を行い、部活動の地域移行の理解を深める。
地域クラブ試行を継続実施するとともに、試行種目を増やし、令和７年度の地域移行への円滑化を図る。

2．実証内容と成果

スポーツ庁

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

須坂市部活動地域移行に関するアンケート（抜粋）

休日の学校部活動に代わる地域クラブ活動について

① 地域クラブに参加したい（させたい）か【小・中学生、小・中保護者】

地域クラブに「参加したい」、「どちらかといえば参加したい」が小学生50%、中学生43%で、「参加したくない」、「どちらかといえば参加したくない」は、小学生27%、中学生28%、また、「わからない」の回答は、小学生23%、中学生29%であった。小・中学生ともほぼ同じ傾向となった。

保護者は、「参加させたい」、「どちらかといえば参加させたい」が小学生52%、中学生46%で、参加させたいとする保護者が多いが、参加するかどうかは子どもに任せるとする保護者が小学生37%、中学生44%おり、子どもの意向を優先する保護者も多い。

② 地域クラブでどんな活動をしたいか【小・中学生】

小学生は、サッカー、バスケットボールが多い。部活動にない種目では、バドミントン、スキー、ダンス、パソコン（映像編集）、調理が多い。

中学生は、各中学校に部活動があるサッカー、バスケットボール、バレーボール、ソフトテニス、卓球、陸上、吹奏楽が多い。地域クラブでも部活動と同じ種目をやりたいと思う生徒が多いと考えられる。

③ 地域クラブで他校の生徒と活動することをどう思うか。【小・中学生】

地域クラブへ参加したいと回答した小・中学生は、他校の生徒と「活動したい」、「どちらかといえば活動したい」とする回答が小・中学生ともに約85%と多い。

④ 地域クラブの活動場所への移動方法について【中学生、小・中保護者】

ア 中学生は、「自分で行ける場所であれば参加する」、「保護者に送迎してもらい参加する」の回答が80%、「送迎バスを希望する」の回答も8%ある。

イ 保護者は、自転車や公共交通機関、家族などによる送迎と考えている保護者が小・中学生ともに84、%と多いが、有料でも送迎バスなどを希望する保護者が小・中学生ともに約10%いる。小・中学生保護者の回答は、ほぼ同じ傾向

⑤ 地域クラブや地域クラブ指導者に望むこと【中学生、小・中保護者】

ア 中学生は、一人一人のレベルに合わせた丁寧な指導と専門性の高い指導を希望する回答が多い。また、無理のない活動日数や時間、学校生活に配慮した活動時間を望む生徒が次いで多い。

イ 保護者は、小・中学生ともに、専門性が高く、一人一人のレベルに合わせた丁寧な指導と学校生活に配慮した活動時間を望む保護者が多い。また、保護者負担ができるだけかからない活動を望む保護者も多い。

【須坂市部活動地域移行に関するアンケート（抜粋）】

『 須坂AC（アスレティック クラブ） 』グランドデザイン（抜粋）

目標 仲間とともに、運動やスポーツが好きになる。（【やる】【観る】【関わる】）

主な活動方針

①運動やスポーツを通して、中学校生活が明るく健康的で豊かに過ごせるための援助をしていく。

②最大3時間以内（原則2時間）で、生徒の成長段階を見極めながら、短時間で効果的な活動を目指す。

③出場競技会は、保護者・本人と相談して精選できるように助言していく。

④中学卒業後も陸上競技を続ける意欲があり、より高いレベルの願いのある生徒には、専門的なアドバイスと援助をしていく。

また心の疲れ（メンタル面）についても、適切な助言をしていく。（レジリエンス養成）

⑤指導者は、達成したい目標に向かっていくための援助をする。

（主体は生徒で、コーチは原理、原則を助言し、生徒が自由に考えていろいろ試せる場づくりの援助をする：「遊ぶ心」）

生徒たちのこれからの長い人生に思いを巡らせ、将来のよき相談相手となれるように寄り添う姿勢で指導にあたりたい。

※陸上競技は高校生期（ステージ4）から始めても、高いレベルが望めるスポーツです。また、生涯に渡って陸上競技にこだわらず、仲間とともに運動・スポーツが好きになれ、明るく健康的で豊かな人生を歩んでいける機会となるようにしたい。

●試行地域クラブ 須坂AC 参加者アンケート結果（抜粋）

Ⅰ 須坂ACの活動内容について【回答数50】

1 満足56% 2 どちらかといえば満足24%

3 どちらでもない12%

4 どちらかといえば満足していない2%

5 満足していない2% 6 無回答・不明4%

Ⅱ 来年度の須坂ACへの参加について【回答数50】

1 参加したい58% 2 どちらかといえば参加したい20%

3 わからない16% 4 どちらかといえば参加したくない4%

5 参加したくない0% 6 無回答・不明2%

【試行地域クラブ 須坂AC グランドデザイン（抜粋）】

【試行地域クラブ 須坂AC 参加者アンケート結果（抜粋）】

2．実証内容と成果

スポーツ庁

参考資料（活動写真）



【須坂市部活動地域移行検討協議会　現状と課題の把握】



【須坂市部活動地域移行検討協議会先進地視察】



【第１回地域クラブ　指導者紹介】



【第1回地域クラブ　練習の様子】

2．実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和５年	令和６年	令和７年	令和８年
協議会設置、検討開始	運営主体、運営形態の決定、試行開始	学校現場との調整、運営主体の体制整備	休日の地域クラブ活動の開始	休日の地域クラブ活動の完全移行

●須坂市教育委員会で部活動地域移行検討協議会を設置した。
●メンバーは、今後の地域クラブの運営を見据え、スポーツ団体・文化芸術団体代表、中学校部活動担当教員、部活動保護者会代表、部活動指導員、スポーツ、吹奏楽、美術、情報・技術各学識者等とし、連携が密になるように努めた。
●協議会事務局に学校教育所管課に加え、スポーツ・文化・生涯学習所管課を入れ、連携体制の充実を図った。
●協議会では、それぞれの立場から課題を出し合い、協議するとともに、児童生徒、保護者、教員の声をしっかり把握するため、アンケート調査を行った。

●部活動地域移行検討委員会の中で、課題の把握と対応方法の検討、部活動の見学、先進地の視察、アンケート調査を行い、部活動に代わる地域クラブの目指す姿について検討を行った。
●目指す姿を実現し、中学生にとってより良いスポーツ、文化芸術環境の確保するという観点から、地域クラブの運営主体及び運営形態等について検討を行い、運営主体、運営形態について決定した。
●地域クラブ（陸上競技）の試行を実施した。地域クラブのグランドデザインを作り、共有する中で活動を行った。

●協議会での検討の継続
●運営主体の体制整備
・各団体等との連携体制の確立
・財源の確保
・指導者の確保
・運営方法の検討・決定
　会費の額及び徴収方法、指導者謝金、会場への移動、拠点施設の決定・確保、保護者への支援
●学校、生徒、保護者への説明、周知
●地域クラブ試行を継続実施するとともに、試行種目の増加を図る。

●協議会での検討の継続
●休日の部活動を順次地域クラブへ移行する。（移行期間）
●令和8年度までに休日の部活動の地域クラブへの完全移行を行う。
●平日の部活動はできるところから移行していく。

3．今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けた今後のロードマップ

須坂市教育委員会　部活動改革スケジュール

	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
須坂市教育委員会（地域クラブ運営主体）	・部活動地域移行検討協議会の設置 ・現状把握、課題の整理 ・運営主体・運営形態の決定 ・地域クラブ試行実施	・運営主体の体制整備 ・各団体等との連携体制の確立 ・財源の確保 ・指導者の確保 ・運営方法の検討・決定 会費の額及び徴収方法、指導者謝金、会場への移動、拠点施設の決定・確保、保護者への支援 ・学校、生徒、保護者への説明、周知 ・地域クラブ試行の継続実施（試行活動を増やす）	・休日の部活動を順次地域クラブへ移行（移行期間） ・平日の部活動はできるところから移行	休日の部活動を完全に地域移行